



昨年より、週3日スタッフ常駐でのカラーカ作業が開始しました。チャレンジの年のため作業内容も衣類関連の限定的な作業でしたが数名の利用者の新たな働く場として安定して通所することができました。今年はこのカラーカを週5日、リサイクルショップの補助的な作業場として更に多くの利用者が楽しく、ゆったりとやりがいをもって活動出来る場所にしてようと作業メニューも増やし、6月現在では8名ほどの利用者が通所できる場所になりました。

ちいろば・カラーカの新たなスタート

ハンディのある仲間たちが働くお店

ちいろば

発行元
 特定非営利活動法人ちいろば
 206-0003
 東京都多摩市東寺方1-16-3
 リサイクルショップちいろばの家
 042-372-3015
<https://www.chiiroba.tokyo/>
chiiroba@chiiroba.tokyo

ちいろばの再生隊作品

Instagram始めました。
 インスタグラムQRコード

ニワトリ幸子

- 材料は皆様のお持ち込みの品で作ってます。
- 布・ボタン・ひも・わた・糸でできてます。(目玉部分は購入品)
- デザイン担当→しはちゃん
 しはちゃんのおHP→

現在ではまだ3日限定ですが作業も安定し、同じ空間で利用者どうし互いに支えあいながら作業している姿を見て、改めてこの空間を大事に守りたいと思えました。現在「ちいろばの再生隊」として材量のほとんどをリサイクル品で作るオリジナル人形の制作も始まりました。近いうちに店舗で販売予定していますので楽しみにして下さい！

平松(文責)

カラーカのおんろ
 水曜日に出勤します。
 平松さんの手話を
 ながました。ぼくは
 うれしかったです。
 今後はいろい分け
 をします。がんばり
 ます。

上の原稿は聴覚にハンディのある利用者が感じたまま書いてくれました。彼は毎日、作業に前向きにチャレンジしています。水曜日には、カラーカにも通所しています。

特集 LGBTQ+ のこと 当事者の声

「パートナーシップ制度について」 亜里紗
 皆さんは、パートナーシップ制度やセクシャルマイリティやLGBTQ+という言葉を知っていますか。大まかに言うと、性的少数者の人に関与する言葉です。少し昔まではそんな言葉すらありませんでしたが、時代が進んで来るにつれ、日常的にそくく言葉を耳にする機会が急激に増えてきました。これらの言葉の説明ですが、LGBTQ+とは、下記の7つの頭文字です。
 L→レズビアン(同性を好む女性)
 G→ゲイ(同性を好む男性)
 B→バイセクシャル(同性も異性も恋愛対象にぼる人)
 T→トランスジェンダー(出生時に登録された性別に違和感あり)
 Q→クエスチョニング(自分は何者なのかわからない)感のあり
 +→プラス(定義しきれない多様な性)
 上記に言葉当する人にも結婚の自由を与えようというのがパートナーシップ制度とされていて、今から7年前の2015年11月に渋谷区と世田谷区を皮切りに、全国に広まりつつあり、この9月中も今年の2月にやとのこの制度を導入することになります。(続く)

ひとりのおもいが 人々の心をうごかす

38年前に「保育園時代には普通に一緒に遊んでいた子供たちが、小学校に上がるから」といって、ちょっと物事をすることがまわりの友達より不得意なある子は、地域にある小学校の普通学級ではなく、ちがう学校に追い

入れなくてはならないのか」というおもいをもっていた保育士がいた。どうしたら追いやられた子どもが義務教育を終えた後に障害者施設ではなく、この地域のなかで生活ができるだろうかと気持ちに対して誠実に応えるため、多摩市にあるかしのき保育園の職員、おやじの会（保育園に通う父母）、ゆりのき

保育園の職員の有志が集まり話し合ったそうです。2つの保育園は積極的に障害のある子どもたちを入所させていたようだ。ついでに千種



スケジュール

7月 July

日	月	火	水	木	金	土
6/26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	8/1	2	3	4	5	6

8月 August

日	月	火	水	木	金	土
7/31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	9/1	2	3

9月 September

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	8/31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	10/1

ご寄付ありがとうございました

●回収件数 4006件
 ●お持込件数 5000件
 ●回収日程 25件
 (2021年12月)
 (2022年5月 6か月間累計)
 みなさまからいただいた、衣類
 家庭雑貨本 贈答品などはた
 いせつに使わせて頂きました。
 寄付品の送り先
 〒206-0003
 東京都多摩市東寺方1-16-3
 ちいろばの家まで。



編集後記

マイノリティと多数派
 (小數派と多數派)



この社会にわたしは障害をもって生かされている。その社会では「障がい者(小數派=マイノリティ(minority))」と「健常者(多數派=マジョリティ(majority))」といまでは表現される(ことが多い。障害のある自分はマイノリティとされるだろう。それは社会的にひとが理解するための「WORLD(言葉)」にすぎない。「健常者」をしろへると障害者・難病者に対していわれる表現。日常生活行動にも障害のない人のことであると記載されているが、わたしにとってはどうでもいいことである。あえて言うのであれば「あなたにとっては得意なことがわたしにとっては不得意だけである。」その逆もあり得るだろう。考えや行動で自分を変えられる。あとは、それを自分のまわりの人たちがどのように受け取ってくれるかと自分ができるように受け入れるかだ。自分の考えがしっかりしていればまわりのひとは助けてくれると思うし、関係もできる。障がい者・健常者のまよひとして存在しているからである。

千種(文責)